

## 日本発ウィーン便り：チェックポイント（続編）

久々にウィーンに行って（帰って？）来ました。

やっぱりこの街は、いつでも、そして何回訪れても、なんだか特別な場所です。

1年ちょっと行く機会がなかっただけなのに、しっかり「ウィーンに帰りたい」病に襲われること数回。

以前のウィーン便りで、私の「チェックポイント」をご紹介したのを覚えている方いらっしゃいますか？  
自分が客観的に「観光客に見えるか、地元民に見えるか」＝「ウィーンの街に馴染んでいるかどうか」のチェックです。

そう、具体的には、観光地で観光客向けにコンサートやらディナーショーのチケットを売っているこの人たちに声を掛けられるかどうか？のチェックです。



今回は、たった1.5日の短い滞在で、行くところ・食べるもの・買うもの・見るもの・会う人とてんこ盛りで、大忙しだったので、別に暇だったわけではないのですが、色々興味があったので、何人かと話をし色々質問してみました。☺

質問	回答
どこで観光客と住民を見分けている？	目線や歩き方や服装・持ち物
何処の国の人か、なにを基に判断もしくは推測してる？	顔や体型・骨格・髪や目の色、女性だったら、化粧しているのかなど。他には目線や歩き方、服装・持ち物。最初は全然分からなかったけど、毎日人を観察しているとだんだん分かるようになってくるよ。（でもアジア人を見分けるのはまだ難しい！）
何か国語くらい話せる？	大体みんなドイツ語・英語＋自分の母国語＋αの外国語。挨拶だけなら10か国語くらいできるよ。
どんな人が働いている？	大学生（留学生）が多い。特に東欧諸国、旧ユーゴスラビア諸国からの出身者。この日お話ししたのはハンガリー・ギリシャ・コソボ出身の人でした。
ちなみに今日の私は観光客に見える？ 住民に見える？	どっちか分からなかったけど、首からカメラ下げていたから、多分観光客。☺
その（モーツァルトみたいな）衣装とか。 カツラってどこかで買える？	（爆笑）貸してもらっている制服だから分からない。 明日も居るなら聞いておくよ～。（残念。翌日私はもう出発！）

まあ、客観的に上のQ&Aを読んだら、「この人(=私のこと)何してるんだか??」って感じかもしれませんが、色々なことが分かって私にとっては面白い時間が過ごせました。もっと暇だったら、見分け方のコツなんぞ伝授してもらいながら、しばらく道行く人々を観察するのも楽しいかもしれません。☺  
ただし、一つ聞き忘れました。この人たちは何て呼ばれているのか?(私は勝手に「モーツァルトの人」って呼んでいますが)。まあ、ドイツ語圏なので、きっと、面白い名前じゃなくて、ただそのまんま、Konzertkartenverkäufer(コンサートチケット販売員)とか、そんな感じでしょうけどね。

シュテファン大聖堂前のモーツァルトの人々も、王宮前の馬車の列も。  
違和感なく風景に馴染んでしまうのはウィーンならではののかもしれません。



おまけの情報を一つ。



可憐な花 Maiglöckchen(マイ・グロックヒェン:鈴蘭)は5月の花。ドイツ語を直訳すると「5月の小さな鈴」  
毎年5月に入ると、花屋さんではもちろん、街角でも Maiglöckchen 売りの人がいたりします。  
家族とか友達とか、そして母の日にもこの花を贈るそうです。何気なくちょっと花を贈る習慣って、良いですね。

いつも買いたいなと思うのですが、今回も滞在時間の短さを考えて断念。

また久々に、ウィーンからお届けします！